

はじめに

大分県には、古くからあるため池や最近になってダムによってせきとめられて造られた湖が多くありますが、昔からの姿をとどめた天然の湖や池は数えるほどしかありません。

天然の池や湖であっても周囲の環境の変化のため、汚れてしまった池や湖も見られますが、ここに紹介する小田の池は、自然が良好に残された典型的な天然湖です。

また、池の南東側には、九州では珍しい泥炭層でできた湿原があります。





小田の池は、九重町との境近くの湯布院町川西地区にあり、阿蘇くじゅう国立公園に指定された地域にあります。

小田の池と小田の池のすぐ東側にある山下池の湖面は、エンジン付きの船での乗り入れが禁止されていますし、小田の池の周辺の一部は、車等の乗り入れも禁止されています。

小田の池の西側にはやまなみハイウェイが通っていますし、すぐ隣にある池の山下池には湖岸にホテルが建てられています。

しかし、不思議なことに小田の池の周囲には貴重な自然環境が豊かに残されています。

ここでは、池の成り立ちから池とそのまわりの自然の姿をいろいろな角度から紹介していきます。

